

平成25年度事業評価中間報告書（要旨）

政策評価の対象とした政策	インターネットによる古典籍の紹介
政策の目的・目標	書陵部図書寮文庫において収蔵する古典籍の目録のデータベースを作成し，画像データと共に宮内庁ホームページを通じて広く国民に紹介し，利用者の利便性の向上を図る。
中間報告書の概要	<p>本報告書は，平成27年度に公表する総括的な評価（事後評価）に向け，平成25年度中の取組について，中間的な取りまとめを行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 事業の内容 皇室ゆかりの古典籍（約31万点）について，以下を実施。<ul style="list-style-type: none">・ 目録のデータベースを構築。・ 同目録のインターネット上での公開。・ 主な古典籍については，インターネット上で画像を公開。○ 現時点での効果 本事業の開始により，以下の通り，国民（利用者）の利便性が向上している。<ul style="list-style-type: none">・ 当部収蔵の古典籍の目録は，これまで主要大学図書館や国立国会図書館に配布されている冊子（紙媒体）で確認する以外方法がなく，専門的な方以外にはほとんど知られていなかったが，場所の制約なくインターネット上で容易に確認できるようになり，一般の方にも知られるようになった。・ データベース化によりキーワード等による検索ができるようになった。・ 古典籍の画像について，一部ではあるが，インターネット上で公開を開始したことにより，利用者は閲覧手続きを経ずに，また場所の制約を受けずに，閲覧できるようになった。